



# Skull Spikes from Smartphone Use?

## 衝撃! スマホいじりで若者の頭に「角」が生える!?



頭蓋骨に「角」のような小さな突起物が確認できる

これだけは覚えておきたい!!

<b>hectic</b> [héktik]	慌ただしい、大忙しの
<b>lock horns</b> [lák hór:nz]	意見を戦わせる、論争する
<b>bad posture</b> [bæd póstʃə]	悪い姿勢
<b>crane forward</b> [kréin fór:wərd]	前かがみになる、首を前に伸ばす
<b>skull</b> [skúl]	頭蓋骨

聴くこと、声に出すことが成長への近道!

### 🎧 編集長おすすめトレーニング

Practice 1 英文を見ずに、CNNの生英語 (3) を聴いてみよう。

Check!

Practice 2 英文を見ながら音声を聴いてみよう。  
必要ならゆっくりスピード (ポーズなし (4) / ポーズ入り (5) ) も活用してみてください。

Practice 3 日本語訳を参考に内容を理解し、音声を繰り返し聴いて耳を慣らそう。  
さらに、音声をまねながら音読すると、吸収力がグンと上がります。

プラスアルファ 余力のある方は、別冊付録の問題集にチャレンジしてみてください。

## Skull Spikes from Smartphone Use?

Early **adulthood** can be a hectic time. Many young millennials or Gen Zs can be found locking horns, grabbing the **bull** by the horns or even tooting their own horn, but one thing they don't usually do is grow horns. A report from Australia suggests otherwise. It says bad **posture** from craning forward to use smartphones could be **causing** some of them to grow tiny, horn-like spikes on their **skulls**. Those growths are normally found in elderly people, but the study says younger people are now affected.

≫87 words (June 24, 2019)

### 衝撃! スマホいじりで若者の頭に「角」が生える!?

青年時代は慌ただしい時期になることもある。多くのミレニアル世代やZ世代の若者が意見を戦わせたり、恐れずに挑戦したり、あるいは自慢するのさえ見かけるが、一つ彼らが普段しないことは「角を生やす」ことだ。しかし、オーストラリアからのある報告は、これとは違った見解を示唆している。その報告によると、スマートフォンを使用する際に前かがみになる悪い姿勢が、一部の若者たちの頭蓋骨（後頭部）にとっても小さな角のような突起物が生える原因ではないかと述べている。このような突起物は通常、高齢者に見られるが、この研究によると、今ではより若い世代がこの症状に侵されているとのことだ。

(訳 石黒円理)

### リスニングのポイント

本当はカナ表記では正確な発音を表せないのですが、音の大体のイメージをつかんでいただくために、あえてカナ表記を用います。「聞こえ方」のひとつの目安にしてください。

アメリカ英語で注意すべき母音の響きを聴いてみよう。

1行目の **adulthood** ≫ [アドウトフッド]

2行目の **bull** ≫ [ボー]

4行目の **posture** ≫ [パースチャー]

5行目の **causing** ≫ [カーズイン(グ)]

6行目の **skulls** ≫ [スコウズ]

カナ表記の中の太字は、強く発音される部分を表します。また、括弧に入っている部分は、普通、日本人の耳には聞こえないか、実際に発音されていない音を表します。

アメリカ英語で注意すべき母音の響きを聴いてみましょう。まず、**adulthood**の-dult-の部分や**skulls**に含まれる母音(つづり字はu)は、busやcupの母音と同じであり、本来は「ア」に近く聞こえる母音ですが、すぐ後ろに [l] の音が続く場合には、その影響を受けて、しばしば「オ」に近い響きになります。**bull**の母音(つづり字はu)は、「ウ」と「オ」の間くらいの響きをする短母音ですが、特に、すぐ後ろに [l] の音が続く場合には、しばしば「オ」に近く聞こえます。

**posture**のpos-の部分の母音(つづり字はo)は、イギリス英語では、「オ」に近く聞こえますが、アメリカ英語では、長めに発音された「アー」に近い響きになります。**causing**のcaus-の部分の母音(つづり字はau)は、アメリカ英語では、「オー」と「アー」の間くらい響きをする長母音ですが、**posture**のpos-の部分の母音と同じ母音を用いる話し手も少なくありません。このアンカーも、その一人です。

解説 南條健助(桃山学院大学国際教養学部准教授)